

## 庁内業務可視化によるDX推進事業について

DX戦略本部事務局

### 1 目的

行政事務の効率化を図るため、業務量調査で可視化した業務量データを活用し、業務フロー等を他県と比較・分析することにより、新たなシステムの導入、既存システムの機能改善や連携強化など業務の電子化、自動化等を推進する。

### 2 令和5年度の事業内容

紙の使用量が多いなど職員の高負荷となっている業務や各部局自らが業務改善を目指す業務について、新たに30業務選定し、ワークショップ形式の実践研修による業務分析、施策検討を通して、デジタルソリューション等による事務の効率化を進める。

#### (1) 職員の高負荷となっている業務

次の基準で職員の高負荷となっている業務を16業務選定し、実践研修を通して改善を検討（各部局に伝達済）

- ・紙の使用量が多く、一定のパターンがあり、専門性不要でマニュアル化可能な定型業務
- ・令和6年度以降に予定する財務会計システムの改修のため、効率化等を検討する業務
- ・本庁（地域振興局）の業務が高負荷となっている場合、関係する地域振興局（本庁）の業務も一緒に業務改善を検討

#### (2) 各部局自らが業務改善を目指す業務

部局自らが業務改善を検討する業務を2業務選出（令和5年5月23日付け政-263で依頼）

各部局が選出した業務の中から業務量調査結果を用いて年間時間等を算出して改善効果が高い14業務を選定し、実践研修を通して改善を検討

#### (3) 実践研修委託先

株式会社ガバメイツ（令和4年度業務量調査の受託事業者）

#### (4) 実践研修内容

<1日目：3時間程度>

- ・業務量調査によって生成された業務手順書の整備（業務手順書への情報追加、他県と比較するための業務手順粒度整理など）
- ・業務手順書の他県との比較分析（業務時間、業務フロー、システムやツールの導入状況など）
- ・改善検討箇所の選定

< 2日目：4時間程度 >

- ・改善検討（課題・問題抽出 → 原因追究 → デジタルソリューションによる改善策検討）
- ・業務改善計画の作成（予算要求に向けた部・課内のプレゼン資料等として改善計画を作成）

(5) スケジュール

- 令和5年度5～6月 各部局自らが業務改善を目指す業務の募集
- 7月 ワークショップ形式による業務改善実践研修
- 8月～ 各部局ごとにデジタルソリューションの実装に向けた取組
- ・DX推進アドバイザー及びデジタルマッチングボックスAKITAの活用

(6) 業務改善検討事業一覧

No.	業 務	所 属 名	年間時間	備 考
1	職員の各種健康診断に関すること（健康管理システムを含む）	総務部人事課	3,950	
2	知事印・県印の使用承認及び管守	総務部広報広聴課	3,000	
3	保存文書の管理（文書管理書庫）	総務部広報広聴課	2,268	
4	不動産取得税（承継課税）に関すること	総務部総合県税事務所	2,208	
5	【本 庁 業 務】自立支援医療（精神通院医療）	健康福祉部障害福祉課	584	No. 5とNo. 6と一緒に 改善検討
6	【地域振興局業務】 //	秋田地域振興局福祉環境部	7,840	
7	【本 庁 業 務】特定医療費（難病の医療費助成）	健康福祉部保健・疾病対策課	4,232	No. 7とNo. 8と一緒に 改善検討
8	【地域振興局業務】 //	秋田地域振興局福祉環境部	1,565	
9	【本 庁 業 務】医薬品・医療機器等に関すること	健康福祉部医務薬事課	1,738	No. 9とNo. 10と一緒に 改善検討
10	【地域振興局業務】 //	秋田地域振興局福祉環境部	1,856	
11	【本 庁 業 務】毒物・劇物及び麻薬に関すること	健康福祉部医務薬事課	1,151	No. 11とNo. 12と一緒に 改善検討
12	【地域振興局業務】 //	秋田地域振興局福祉環境部	3,587	
13	県外産業廃棄物搬入事前協議に関すること	生活環境部環境整備課	3,060	
14	支出命令書等の審査	出納局会計課	13,188	財務会計システム改修 のため効率化等を検討
15	//	秋田地域振興局総務企画部	9,506	
16	給与庶務に関すること	教育庁教職員給与課	2,760	
17～ 30	各部局自らが業務改善を目指す業務	—	—	—